

	採用医薬品名	授乳婦	備考
▼抗生物質	ケフラールカプセル250mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	サワシリン錠250mg	授乳を避けること（*1） nochd基準；◎	*アモリン、バセトシン添付文書には授乳に関する記載なし
	セフゾンカプセル100mg	◎（乳汁移行なし）	
	トミロン錠100mg	◎（乳汁移行なし）	
	パナン錠100mg	授乳をさせないこと	
	フロモックス錠100mg	◎（乳汁移行なし）	
	メリアクトMS錠100mg	◎（乳汁移行なし）	
	エリスロシン錠200mg	授乳を避けること nochd基準；◎	
	クラリス錠200mg	授乳を避けること（*2） nochd基準；◎	
	ジスロマック錠250mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	ファロム錠200mg	授乳をさけること	
	ホスミシン錠500mg	nochd基準；◎	
	ビブラマイシン錠100mg	授乳を中止すること nochd基準；◎	
	ミノマイシン錠50mg	授乳を中止すること	
	ダラシン錠150mg	授乳を避けること nochd基準；◎	
	アベロックス錠400mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
	オゼックス錠150mg	授乳を中止すること	禁忌； 妊婦 小児用細粒あり；
	クラビット錠500mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
	グレースビット錠50mg	授乳を避けること	禁忌； 妊婦、小児
	ジェニナック錠200mg	授乳を中止すること	禁忌； 妊婦、小児
	シプロキササン錠100mg	授乳を避けること nochd基準；◎	禁忌； 妊婦、小児
▼帯状疱疹薬	ゾピラックス錠200mg	授乳を避けること nochd基準；◎	顆粒あり；
	バルトレックス錠500mg	慎重に行うこと nochd基準；◎	
▼感冒薬	PL配合顆粒	長期連用は避けること	警告；アセトアミノフェン併用×、禁忌；緑内障 *鎮静作用に忍容性なしなら投与中止
	TJ-001 葛根湯エキス顆粒	◎（ダイオウ含有なし）	
▼咳止め薬	アスピリン錠10mg	—	DS、Syあり；0歳～
	カフコデN配合錠	×（*3）	警告；アセトアミノフェン併用×
	メジコン錠15mg	—	Syあり；3ヶ月～
	キョウニン水「マルイシ」	×	MAX1日6ml 小児；×
	プロチンシロップ3.3%	×（エタノール含有のため）	
	TJ-029 ツムラ麦門湯エキス顆粒	◎（ダイオウ含有なし）	

▼抗アレルギー薬	アレグラ錠30mg、60mg	授乳を避ける nochd基準；◎	30mg；7～11歳 60mg；12歳～ DSあり；6ヶ月～
	アレジオン錠10mg、20mg	授乳を中止	DSあり；3歳～
	アレロック錠2.5mg、5mg	授乳を中止	5mg；7歳～ 顆粒あり；2歳～
	クラリチン錠10mg クラリチンレディタブ錠10mg	授乳を避ける nochd基準；◎	10mg；7歳～ DSあり；3歳～
	ザイザイル錠5mg	授乳を避ける	MAX； 10mg Syあり；6ヶ月～
	ジルテック錠5mg、10mg	授乳を避ける	5mg；7～14歳 DSあり；2歳～
	タリオン錠10mg	授乳を避ける	10mg；7歳～
	デザレックス5mg	授乳を避ける	5mg；12歳～
	ビラノア錠20mg	授乳を避ける	
	セレスタミン配合錠	授乳を避ける	禁忌； 緑内障、前立腺肥大等 Syあり；
	TJ-019 ツムラ小青龍湯エキス顆粒	◎ （ダイオウ含有なし）	
	TJ-002 ツムラ葛根湯加川芎辛夷エキス顆粒	◎ （ダイオウ含有なし）	
	オノンカプセル112.5mg	—	DSあり；12kg～
	シングレア錠10mg	慎重に投与（＊4）	細粒あり；1歳～
	フルナーゼ点鼻液50μg 56噴霧	—	MAX； 8噴霧 小児用あり
	リボスチン点鼻液0.025mg 112噴霧	授乳を中止	

▼気管支拡張薬	テオドール錠100mg	授乳を避ける nochd基準；◎	Sy，DSあり；6ヶ月～* *日本小児アレルギー学会
	ホクナリンテープ 2mg	授乳を避ける	2mg；9歳～ DSあり；6ヶ月～
	メプチンエアー10μg100回	吸入後、24時間授乳さける	MAX； 1日4回（8吸入）

▼痰切り薬	ムコソルバン錠15mg ムコソルバンシカプセル45mg	授乳を避ける	DS，Syあり；1歳～
	ムコダイン錠500mg	—	DS，Syあり；1歳～

▼消炎酵素薬	レフトーゼ錠（30）	—	禁忌； 卵アレルギー Syあり；0歳～
--------	------------	---	------------------------

▼解熱・鎮痛薬	カロナール錠200	nochd基準；◎	警告；PL、カフェ× MAX；1500mg 細粒、Syあり；幼児適応あり
	バファリン配合錠A330mg	授乳を避ける	
	ペオン錠80	授乳を避ける	
	ボルタレン錠25mg	授乳を避ける nochd基準；◎	禁忌； 妊婦 サボあり；1歳～
	ロキソニン錠60mg	授乳を中止	MAX； 180mg
	セレコック錠100mg	授乳を避ける	長期投与不可
	モービック錠10mg	授乳を中止 nochd基準；◎	MAX； 15mg

▼含嗽剤	イソジンガーグル液7%	—	
	含嗽用ハチアズレ顆粒	—	

▼整腸剤	ビオフェルミン錠剤	◎ （乳酸菌のため）	
	ビオスリー配合錠 配合散	◎ （酪酸菌のため）	
	ラックビー錠	◎ （ビフィズス菌のため）	
▼緩下剤	(搬)酸化マグネシウム	nochd基準；◎	
	ブルゼニド錠 12mg	nochd基準；◎	MAX: 4錠
	アローゼン顆粒	授乳を避ける nochd基準；◎	
▼止瀉薬	アドソルビン原末	◎ （吸収されないため）	
	ロペミンカプセル	授乳を避ける nochd基準；◎	小児用細粒あり；
▼消化管薬	ナウゼリン（OD）錠 10mg	授乳を避ける nochd基準；◎	禁忌； 妊婦 DS, 細粒あり；
	ブリンペラン錠 5mg	授乳を避ける	慎重投与； 小児 Sy, 細粒あり；
	アシノン錠 150mg	授乳をさせない nochd基準；◎	
	ガスター錠 20mg	授乳をさせない nochd基準；◎	
	ガスマチン錠 5mg 散 1%	授乳を中止	
	セレキノ錠 100mg	授乳を中止	
	ストロカイン錠 5mg		
	コロネル錠 500mg	◎ （吸収されないため）	
	ブスコパン錠 10mg		禁忌； 緑内障、前立腺肥大
	コランチル配合顆粒	有益性の投与	
▼抗めまい	メリスロン錠 6mg		
	アデホスコーフ顆粒 10%		
▼偏頭痛	レルパックス錠 20mg	授乳を避ける nochd基準；◎	投与後24時間で0.02%乳汁移行あり
	イミグラン錠 50mg	授乳を避ける nochd基準；◎	
	ゾーミッグRM錠 2.5mg	授乳を避ける	
▼抗インフルエンザ	タミフルカプセル 75	授乳を避ける	米国疾病予防局では妊婦・授乳婦への投与推奨（*5）
	リレンザ	授乳を避ける	
	イナビル吸入粉末剤 20mg	授乳を避ける	
	TJ-027 ツムラ麻黄湯エキス顆粒	◎ （ダイオウ含有なし）	

- (\*) サワシリン 授乳婦6名に500mg単回経口投与後の乳汁中移行は投与後2～6時間後でtrace～0.6μg/mLであった
- (\*) クラリス 産褥期感染症の女性（500mg6日間）の母乳中のクラリスロマイシン及び（代謝物）の濃度は、それぞれ血中濃度の約25%、約75%であった
- (\*) カフコデN配合錠 類似化合物（コデイン）で、授乳中の乳児でモルヒネ中毒が生じたとの報告がある。ジフェンヒドラミンは、動物実験（ラット）で乳汁中に移行するとの報告がある。
- (\*) シングレア （ラット）100又は200 mg/kgを反復経口投与し、最終投与後4時間における乳汁中未変化体濃度は、血漿中濃度の0.32又は0.37倍で、胎児に対して毒性はなかった
- (\*) タミフル、リレンザ 新型のウイルスに感染したか、感染の疑いがある場合には、症状が出てから48 時間以内に抗ウイルス薬の投与を始め、5 日間続けるべきだとしています。さらに、感染の疑いがある人と接した場合にも、10 日間予防的に服用するべきだとしています。（米国疾病予防局）
- 漢方薬 ダイオウ含有でなければ、授乳婦への投与可能と考える。ダイオウは下痢を引き起こす可能性あり

